



## 重症下肢虚血を知っていますか？

重症下肢虚血とは動脈硬化などによる足の血行障害により安静時に痛みがあったり、傷ができたりすることです。このような状態は足に栄養や酸素を送ることができないためになります。また、足の傷がなかなか治らないこともあり、ひどいときには足を切断してしまわなければならないこともあります。重症下肢虚血は下記のグラフのように5年後の生存率は約40%と悪性腫瘍と変わらない値が出ています。

### 重症下肢虚血の前状態の特徴

#### 自分でわかるもの

- ①症状なし～冷感、しびれが多い
- ②下肢の皮膚色が紫色、白色になっている
- ③足背動脈、後脛骨動脈の触知不良

#### 病院の検査で分かるもの

- ④SPP(皮膚組織灌流圧) 40mmHg以下
- ⑤TBI(足趾上腕血圧比) 0.55以下(ABIは1.0以上のことも少なくない)

上記のような症状があり、些細な傷(靴擦れ、巻き爪、ひび割れ、やけど)を契機に足の状態が悪くなることがあります。

### 重症下肢虚血を予防するために

- ①自分の足に関心を持つてみる
- ②足を清潔に保つ
- ③保湿をする
- ④自分に合った靴を選ぶ
- ⑤重症下肢虚血の前状態の症状があれば、かかりつけ医に相談する

上記のことが重要となってきます。足を大事にすることは健康寿命が延びることにもつながります。いつまでも健康でいられるように足に関心を持ってみませんか。

### 末梢動脈疾患の生存率

